

自転車 2024 業界分析レポート

THE BRIEF MARKET ANALYSIS REPORT ON BICYCLE

MARKET
ANALYSIS

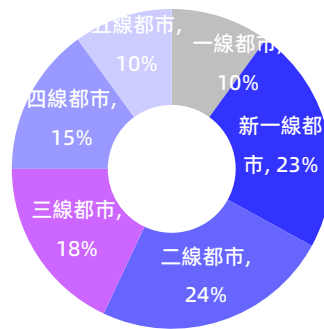
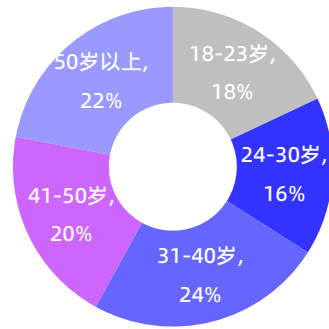
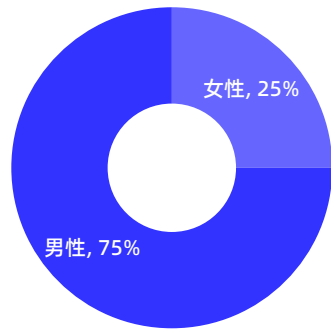
MICR



01. 自転車が複数の属性を持つ新しい乗り物に

- 現在、中国には約600万人のサイクリング愛好者がおり、サイクリングは国民的スポーツとなっている。過去3年間のアウトドアブームの発展に伴い、環境保護、社交、フィットネスなどの属性を持つ自転車は、フィットネスツールや社会通貨として発展し、複数の属性を持つ新しい乗り物になりつつある。
- 企查查で「自転車」を検索すると、現在中国では3,414,124件の検索結果があり、1年以内に設立された企業は1,349,196社であった。「サイクリング」を検索すると、2023年10月末までに、中国には9,732の関連企業があることがわかった。

2023年上半期のティックトックユーザーペルソナ



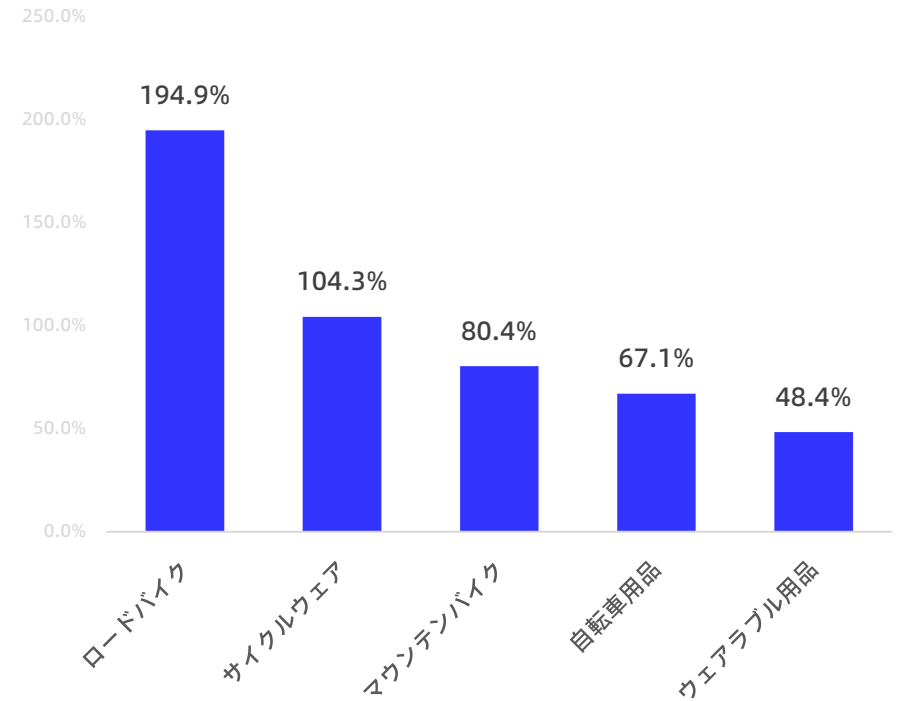
#中国では1億人以上が頻りにサイクリングする

2023年6月3日サイクリングのティックトックでの話題性
675万

2023年ティックトックのサイクリング関連ビデオ再生回数
+94.4%

2023年ティックトックのサイクリングコンテンツ検索数
+137.4%

2023年京東（ジンドン）618セールイベントのサイクリング用品の成長



02. 世界的自転車生産国と消費国となる中国

- 現在、中国の自転車保有台数は約4億台で、依然として世界トップである。現在、中国の自転車市場規模は1,838億1,000万台に達し、着実な成長を続けている。
- 今後、国民の自転車に対する考え方の静かな変化とともに、自転車の人気はますます高まっていくだろう。一方、世界の自転車市場は5年以上成長を続け、2027年には823億ドルに達すると予想されている。

世界の自転車市場規模



80億ドル

米国における自転車の平均単価は457ドル、年間販売台数は約1,500万~2,000万台で、世界市場の12.59%~17%を占める。

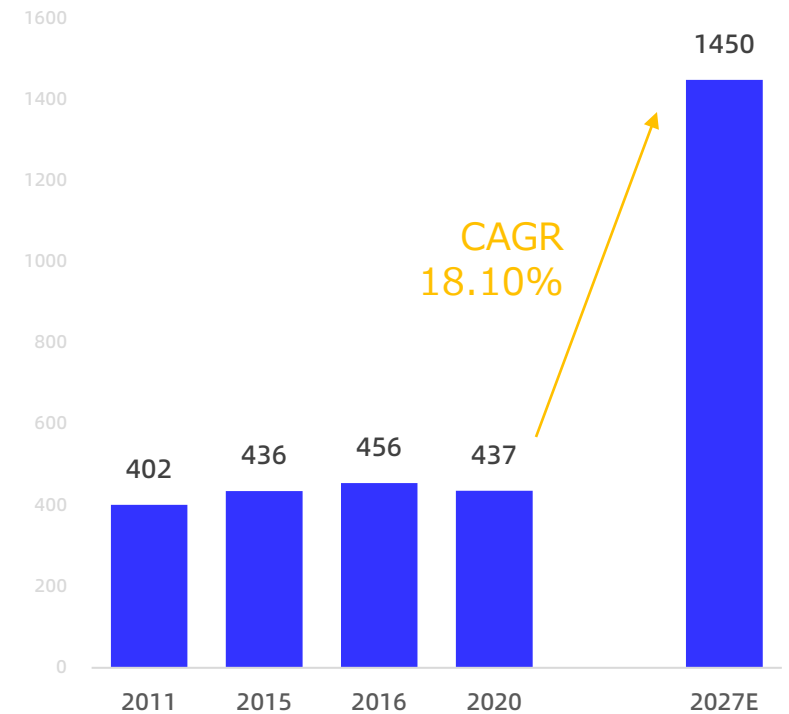
200億ドル

ヨーロッパにおける自転車の平均単価は1,000ドル、年間販売台数は約2,000万台、世界市場の17%を占める。

165億ドル

他の国の自転車平均単価は200ドルで、年間販売台数は8,250万台、世界市場の69%を占める。

2027年までの自転車市場規模（億ドル）



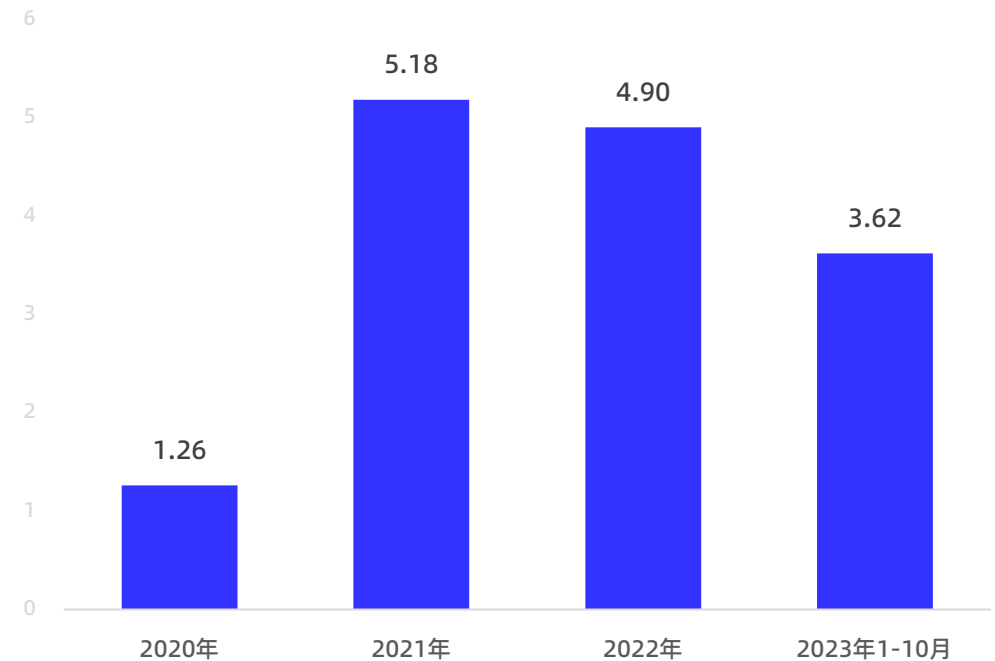
03. 自転車輸出の伸びが急減速

- 2023年に入ると、国際的な地政学的変動や全体的な景気低迷などの影響を受け、市場全体の自転車需要は過去3年間と比べて大幅に減少し、業界全体が在庫調整のサイクルに直面している。
- 中国自転車製造業が長期的にスポーツ自転車の核心部品問題に悩まされているため、国産車ブランドは輸入部品への依存から脱却できていない。この点で、中国の部品メーカーは機会を捉えて研究開発の取り組みを強化しているが、従来の大手企業と比較するとまだまだ道は長い、シリーズの製品のリリースは、中国ブランドが重要な一歩を踏み出したことを意味する。

2019-2023年（1-10月）自転車輸出データ

年	輸出台数（万台）	輸出成長率	輸出額（億ドル）	輸出額成長率
2019年	5,251	-11.4%	28.50	-12.4%
2020年	6,029	14.8%	36.50	28.1%
2021年	6,923	14.8%	51.07	39.9%
2022年	4,165	-39.8%	36.52	-28.8%
2023年（1-10月）	3,375	-	22.23	-

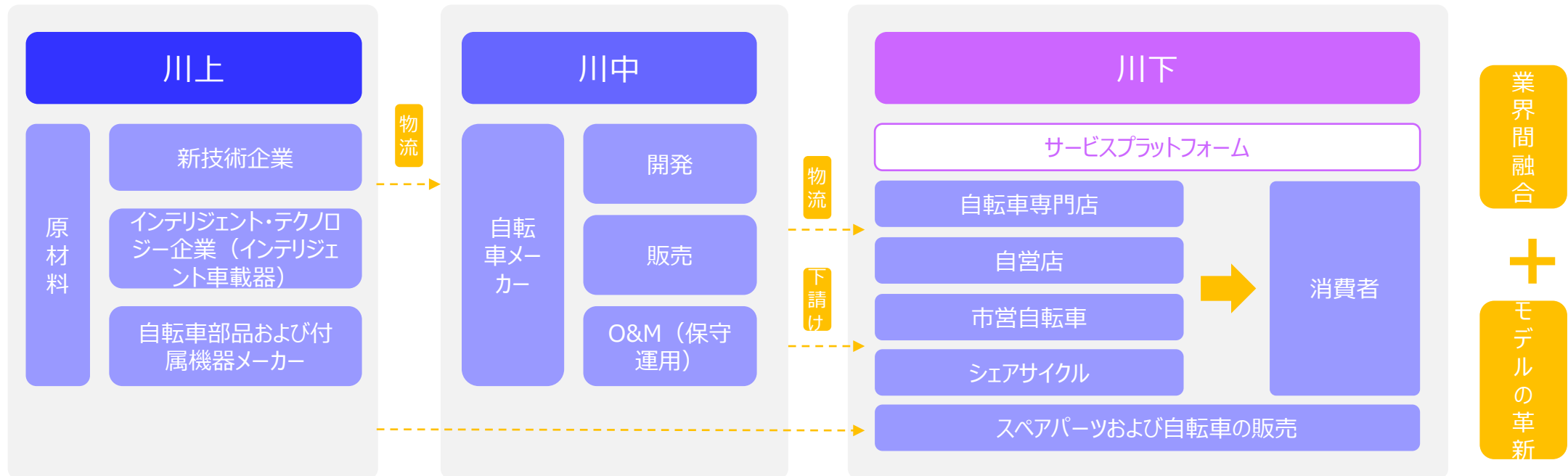
2020-2023年（1-10月）自転車部品の輸入総額(億ドル)



04. 自転車産業チェーンは完全に

- 自転車ブランドメーカーを核心とする産業チェーンでは、川上は主に自転車部品と派生設備製造企業、一部のハイテク自転車車両設備メーカーである。川下は主に自転車販売企業、関連部品販売企業、都市公共自転車サービス分野、自転車シェアリングAPP、スポーツ情報管理プラットフォームなどのプラットフォームサービスを提供する企業である。
- 消費者の需要がますます個人化されていることを背景に、自転車産業チェーンの川上と川中の生産と開発は、川下の消費者需要に引っ張られる形で推進されている。

中国自転車産業チェーン概観



05. 自転車生産・消費の地域集中

- 自転車産業クラスターは、現在の中国電動自転車産業発展の重要な特徴である。生産面では、天津市、江蘇省、浙江省が中国の電動自転車の主要生産地となり、物流、支援施設、研究開発、製造に基づく3大放射センターが形成されており、産業集積の利点が明らかである。
- サイクリングに関しては、河北省、北京市、上海市、甘肅省、浙江省はサイクリング嗜好度が高い（他のスポーツと比較して、サイクリング消費の割合が高い）。北京市、上海市などの都市サイクリングに加え、山間部や河川、湖沼のサイクリングに挑戦することが人気だから、甘肅省はサイクリング消費嗜好の上位5省・市の1つとなっている。



06. 自転車の2つのカテゴリー: 従来型自転車と電動アシスト自転車

- 自転車は従来型自転車と電動アシスト自転車に分けられる。従来型自転車は、利用シーンによってシティサイクル、ロードバイク、マウンテンバイクに大別される。
- 電動アシスト自転車は「電動自転車」とも呼ばれ、新しいタイプの自転車である。形は自転車に似ており、モーターをパワーアシストシステムとして、センサーが収集した情報に基づいて走行プロフィールを作成し、モーターの出力を動的に調整する。コントロールシステムはより複雑で、技術的な内容が多く、価格が高く、現在欧米市場で人気がある。

従来型自転車

シティサイクル



シティサイクルは、「ママチャリ」とも呼ばれ、比較的女性的で乗りやすい大型車である。シンプルでカジュアルなシティサイクルは、前部には物を入れるバスケットがあり、後部には座席があり、実用的な機能で、消費者の好みに応じ、都市交通では常に存在の主役を演じている。

マウンテンバイク



マウンテンバイクは、大人またはプロの競技カテゴリー、特に山でのライディングに適している。変速システムを活用し、長距離のオルタイン走行に適している。タイヤは比較的幅広で、路面状況に応じたグリップ力と走破性を備えている。

ロードバイク



ロードバイクは、マウンテンバイクをベースに、特殊な路面用に改良されたバイクで、比較的細いタイヤが主な特徴で、走行抵抗が少なく、スピードとハンドリングの良さに優れ、市街地走行やプロの緑道走行に適している。

電動アシスト自転車



従来の自転車に比べ、電動アシスト自転車には電動アシストシステムが搭載されているため、よりリラックスした省エネルギー走行が可能で、長距離走行のニーズにも十分に答えることができ、サイクリング愛好者の走行半径と行動範囲を大幅に拡大することができる。

07. 自転車の価格帯は幅広い

- 自転車のカテゴリーを見ると、消費者はマウンテンバイクやロードバイク、便利な折りたたみ自転車といった特殊な自転車を好むようになってきている。現在の自転車の価格帯は、数千元から10万元以上と幅広い。高価なバイクは強度、軽さ、剛性に優れた素材を使用し、フレーム、ハンドルなどのパーツはより合理的で快適に設計され、より高品質な部品を使用し、精度と操作性に優れている。

自転車のブルーオーシャン



マウンテンバイク



主な価格帯
600-1200



ユーザーペルソナ

男性、18-34歳



ロードバイク



主な価格帯
3800以上



ユーザーペルソナ

男性、18-29歳



折りたたみ自転車



主な価格帯
0-600+/1200-1800



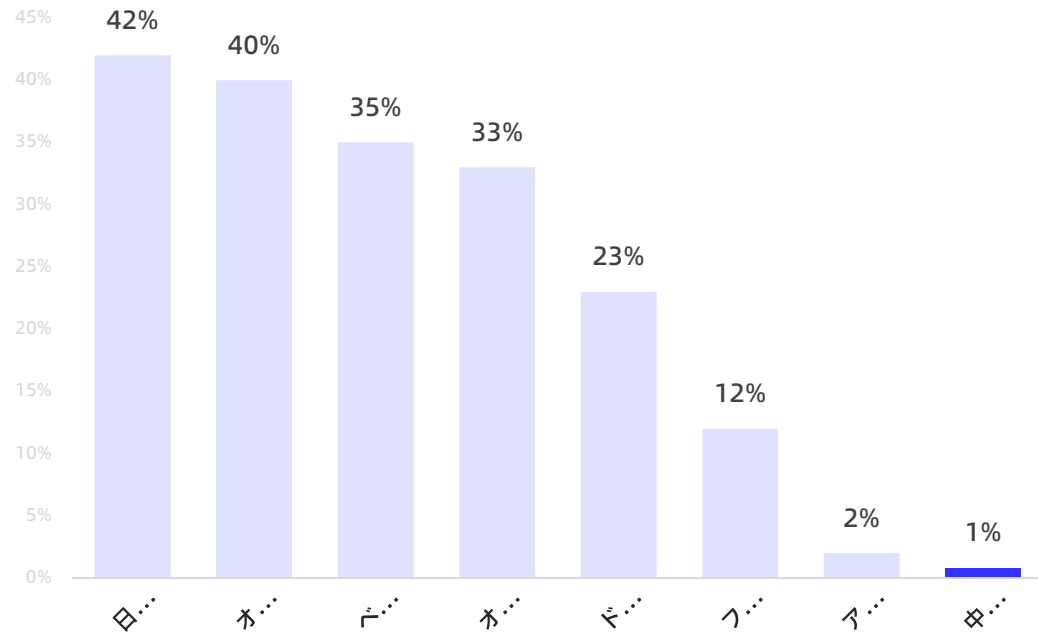
ユーザーペルソナ

男性&女性、18-29歳

08. 電動アシスト自転車が爆発的に成長

- 現在、電動アシスト自転車の主な消費者は欧州、米国、日本に集中しており、コア部品、作動原理、製品の位置づけ、販売価格などの面で、中国の伝統的電動アシスト自転車との間には明らかな差がある。
- 中国における電動アシスト自転車の普及率は1%未満である。中国の公共交通システムの整備が都市化の過程に比べて遅れているため、中低所得者層は比較的安価なバッテリー駆動の移動用車両を好み、電動アシスト自転車の販売が制限されている。
- 世界の電動アシスト自転車市場規模は、2023年には289億ドルに達し、2028年には526億ドルを超え、年平均成長率約12%で成長すると予測されている。

電動アシスト自転車の普及率



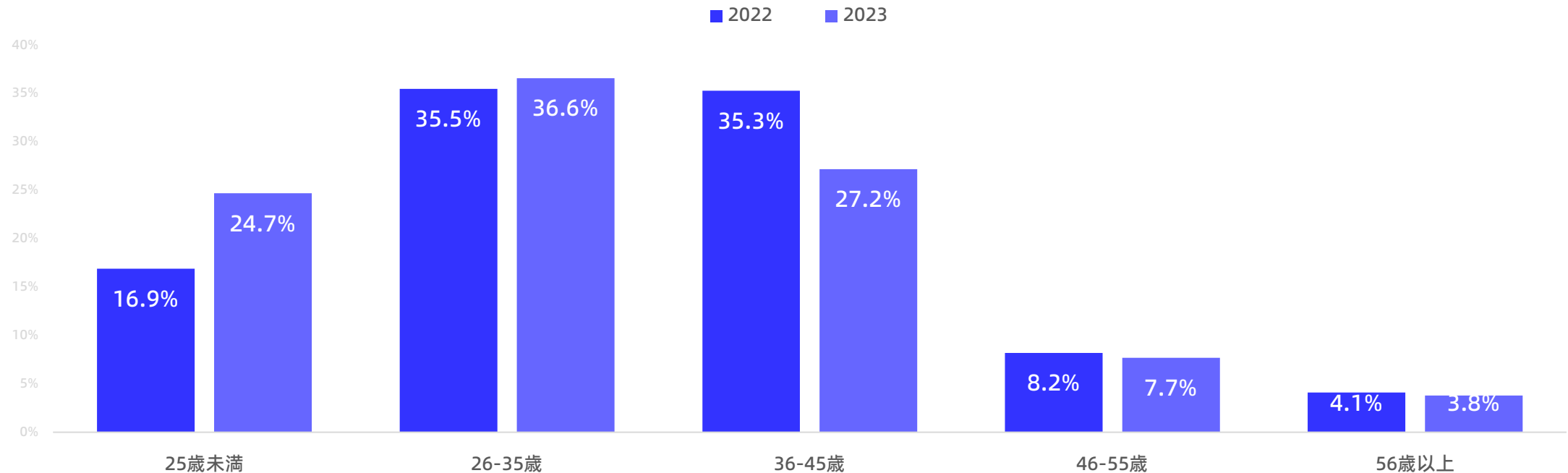
電動アシスト自転車のメリット概要

メリット	詳細
サイバー感とデザインを重視	製品の外観は重厚な質感を持ち、安全性、強度などの性能指標は同種の製品の中でも群を抜いている。
スマート・エレクトロニクスの統合	製品は業界を跨り、身体的健康指標のモニタリング、運動データ、GPSナビゲーションなどの機能を電子製品に統合しており、ハイエンドの消費者市場に好まれる。
後付け電動アシストシステム	従来型自転車と比べ、電動アシストシステムが加わることで、よりリラックスした省エネ走行が可能になり、長時間・長距離のサイクリング愛好家のニーズに十分に答えている。

09. 25歳以下のユーザーによるサイクリング消費が目立つ

- サイクリングに消費するユーザーは主に26～35歳と36～45歳の年齢層に集中している。データによると、2023年1～8月のサイクリング商品販売率は26～35歳が36.6%、36～45歳が27.2%に達した。
- 2023年1月～8月、25歳以下のロードバイクユーザーの取引額は前年同期比387%増加、サイクリングは「完全武装」が望ましいため、25歳以下のユーザーのサイクリング用品の購入選好度も他のグループより高い。2023年1-8月、25歳以下のユーザーのサイクリングウェア、サイクリングアクセサリ、ウェアラブル用品の取引額は前年同期比でそれぞれ232%、104%、91%増加した。

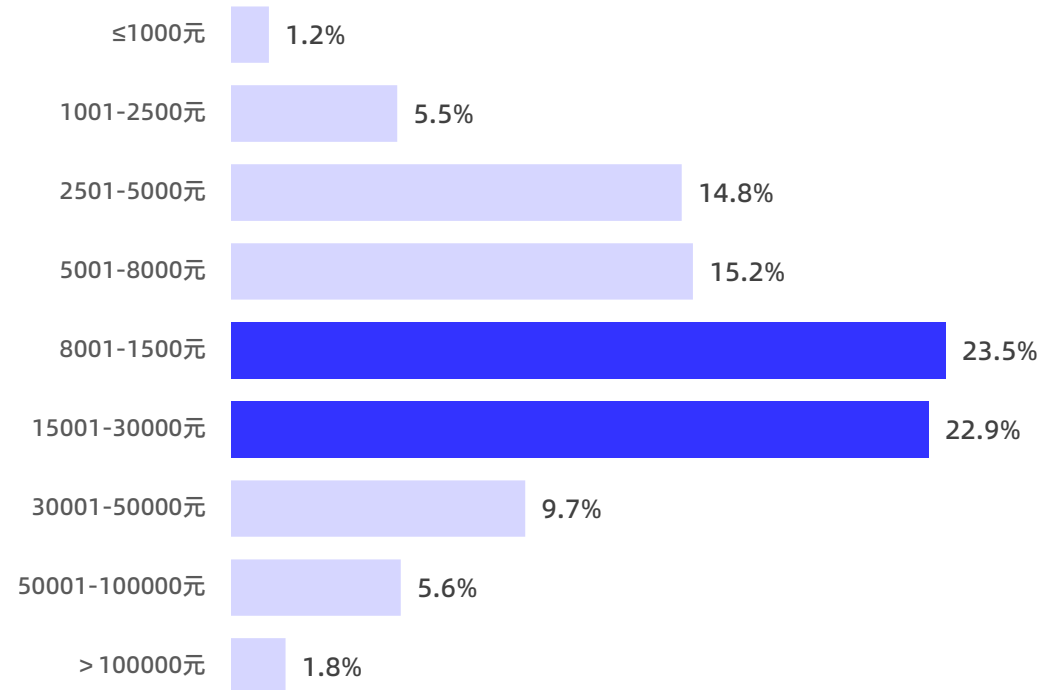
年齢層別サイクリング取引額シェアの推移



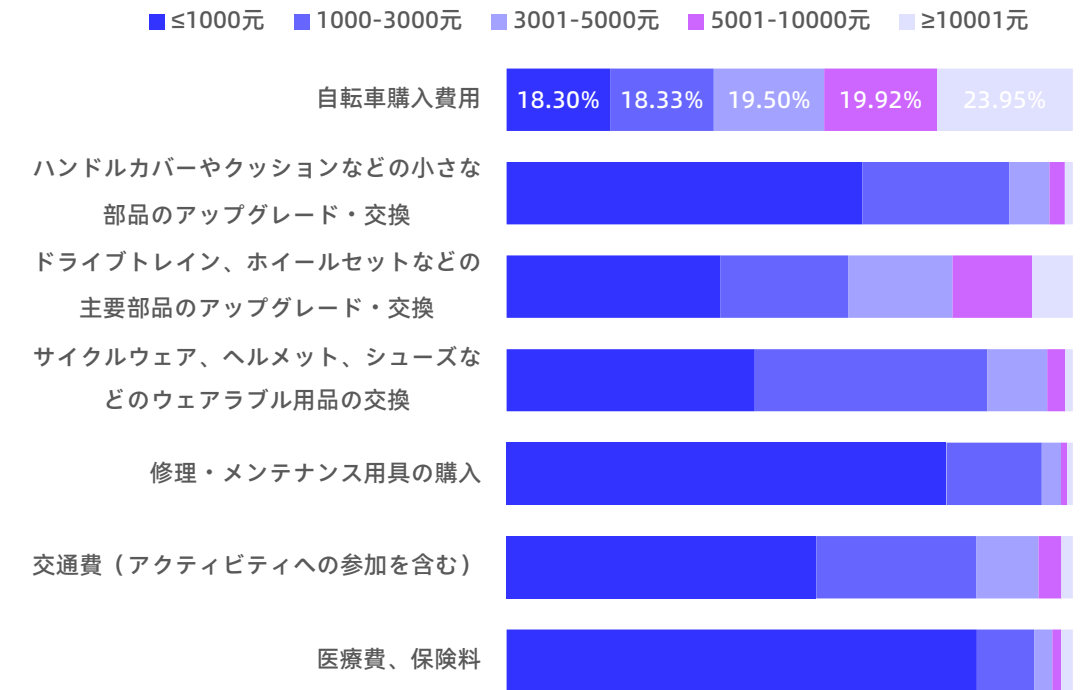
10. 購入意向が最も高いのは8,000～30,000円の自転車

- 現在、サイクリング関連の消費の特徴は、「アップグレードされた予算と消費」である。自転車完成品、スペアパーツ、ウェアラブル用品からツール、医療保険に至るまで、サイクリングに関わるあらゆる側面がコロナ流行前に比べて増加している。
- サイクリング経験3年未満のユーザーは8,000元～15,000元のバイクを、サイクリング経験3年以上のユーザーは15,000元～30,000元のバイクを購入する傾向が強い。

2023年に自動車を購入するユーザーの心理的予算



過去1年間におけるサイクリング全般に対する利用者の心理的予算



11. カッコいいサイクリングが新たな自転車消費をリード

- モダン、レトロ、ストリートなどのウェアの要素を取り入れたサイクリング・スポーツは、情熱と勇気をもって街の隅々まで征服するユニークな姿勢で、**かっこよくて**自信に満ちた自らの個性を解釈している。
- **カッコいいサイクリング**は、クールなモデリングで、個人の自立と自信というスタイルを強調する。カッコいいサイクリングは、主に一、二線都市に住む25～34歳の女性を中心としている。彼女たちは、クールな個性をアピールするため、黒などのダークカラーやサングラスなどの小物を好んで着用し、服装の機能性や着心地に気を配っている。

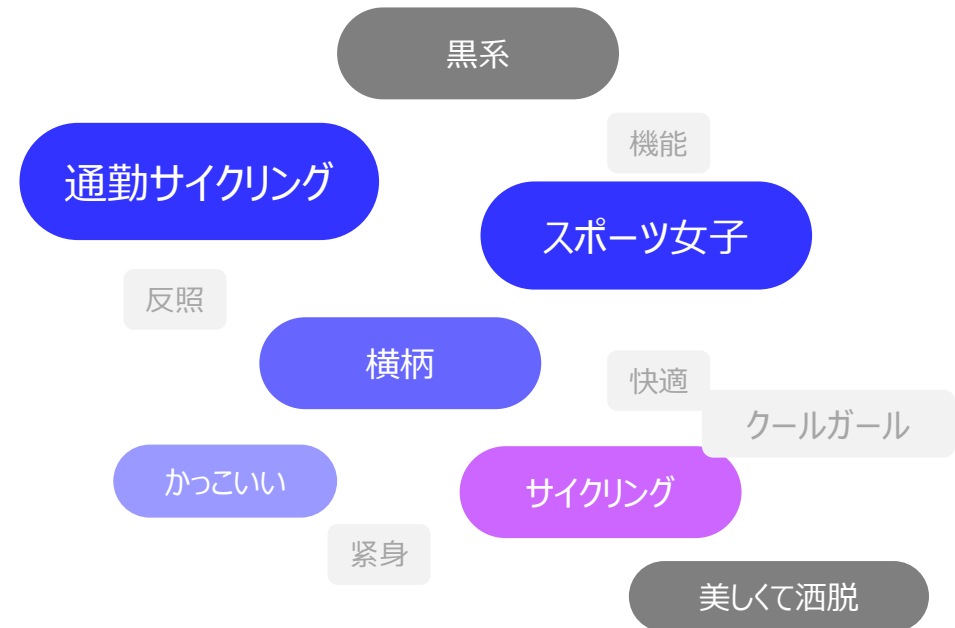
カッコいいサイクリングのユーザーペルソナ

女性、84%

一二線都市、64%

25-34歳、49%

カッコいいサイクリングに関連する人気のタグ



12. ケース:サンダンス、中高級バイクの製造に注目

- サンダンスが1995年に設立され、年間500万台の自転車生産能力を持ち、30以上の省、市、自治区に店舗を持ち、製品は国内外の50以上の国と地域に販売され、世界で初めて自社でUCI国際標準マウンテンバイクコースを建設した。
- 同社は「超軽量」、「軽ハンドリング」という超軽量技術を根底に持ち、世界最大の炭素繊維製造工場、中国最大の自転車生産基地を設立した。

2024年3月、サンダンスのチャイナチーム正式発足



ロードバイク 高頻度検索語クラウド



コアテクノロジー：超軽量&軽ハンドリング



13. 自転車産業が直面する4つの課題

弱い収益性

中国には競合する企業が多く、発展途上国の自転車産業が急速に発展しているため、中国における同様の低・中級製品の競争は激しさを増している。先進国がハイエンド製品の市場を独占し、ハイエンド市場で高い技術障壁を構築しているため、中国のほとんどの自転車は低収益に頼ってしか市場を獲得できない。

01

サプライヤーの弱い交渉力

中国の自転車業界における買い手の全体的な交渉力は比較的強い。自転車メーカーは、洗練された生産を通じて購入者の個別のニーズに応え、チャンネル・パートナーを獲得するためにハイエンドの方向に開発し、競合他社との差を広げるために差別化された運営モデルに依存する必要がある。

02

買い手の強い交渉力

自転車業界には多数のサプライヤーがあり、技術的な敷居は低く、製品やサービスの差別化は顕著ではなく、自転車メーカーに特有のものではないため、切り替えコストも高くない。交渉プロセス中、サプライヤー企業は比較的弱い立場にある。

03

国際貿易リスク

国際貿易には不確定要素が多く、国際貿易摩擦が継続または激化し輸入国が輸入関税政策を変更したり、より厳格な保護貿易政策を実施したりすると、企業の海外売上高や業績により大きな悪影響を及ぼすだろう。

04

14. 自転車企業が注目する四つのトレンド

01 製品のハイエンド化

将来的には、自転車の素材は従来のスチールから金属合金やカーボンファイバーなどの高級素材にアップグレードされ、外観は軽量化、美しい質感、個性化の方向に進化し、機能部分は移動手段からスポーツ、レジャー、フィットネスなどの機能に進化するだろう。

02 生産自動化

中国の自転車産業は、製造業の転換と高度化の流れに積極的に対応し、一部の企業は溶接、塗装、組み立てなどの重要な工程に自動化設備を導入し始め、生産効率と品質レベルが大幅に向上した。

03 使用の高性能化

消費者が自転車を購入する際、80%以上がまず自転車製品の様々な面の性能を考慮する。シェアバイク企業が市場シェアを圧迫している現在と将来において、伝統的な自転車企業は製品性能の向上に注力し、品質問題で批判されるのを避けるためにハイエンド市場を目指すだろう。

04 製品の電動化

電動アシスト自転車は技術的な敷居が高く、販売価格も高い。今後は電動アシスト自転車が増加され、生産台数は年々増加する傾向にある。

著作権表示

本レポートは、上海嘉世营销咨询有限公司(MCR)の完全なレポートから抜粋したショート・バージョンです。
詳細な内容については、mcr@chinamcr.comまでお問い合わせください。

本レポートにおけるすべての内容（文字記事、写真、映像、イラスト、図表等の資料を含むがこれらに限定されない）は、『中華人民共和国著作権法』、『中華人民共和国著作権法実施規則』および万国著作権条約により保護されています。

本レポートの著作権は、MCRに帰属しており、転送、転載、引用が必要な場合は、出典を明記しなければならず、内容に関してはいかなる変更も行ってはなりません。

本レポートは無料であり、いかなる組織または個人も、課金を目的として営業活動に使用してはなりません。

